

第21回京丹波町ホッケーフェスティバル開催要項

- 1 趣 旨 京丹波町及び近隣市町のホッケー仲間が一堂に会し、競技力の向上を目指すとともにお互いの親睦と交流を図る。
- 2 主 催 京丹波町 京丹波町教育委員会 京丹波町スポーツ協会
- 3 主 管 京丹波町ホッケー協会
- 4 後 援 京都ホッケー協会
- 5 日 時 令和8年4月26日（日）
小学男子の部、小学女子の部、一般男子の部、一般女子の部、フレンドリーの部
令和8年4月29日（水、祝）
中学男子の部、中学女子の部
- 6 場 所 グリーンランドみずほホッケーグラウンド
- 7 種 別 等 小学男子の部、小学女子の部（小学生で構成、学年制限なし）
中学男子の部、中学女子の部（中学生で構成）
一般男子の部、一般女子の部（中学生以上一般で構成。インドアスティックを使用）
フレンドリーの部（性別割合や年齢を問わない。インドアスティックを使用）
※1選手のエントリーについては、1人1種別までとする。
※2チーム編成が困難な場合に限り、男子の部に女子を加えることを認める。
その場合は、その理由を付して参加申し込みを行うこと。
- 8 試合形式 本大会は6人制とし、前後半10分ハーフとする。（ハーフタイム3分）
各部門の参加状況によりトーナメント方式、リーグ方式により実施する。
また、トーナメント戦で同点になった場合やリーグ戦で同順位となった場合で順位を決定する必要がある場合は、シュートアウト戦を実施する。
- 9 大会ユニフォーム 原則、日本ホッケー協会ユニフォーム規程に基づくものとする。ただし、ユニフォームの下に着用するロングタイツ、長袖インナーシャツの使用にあつては、今大会では特に制限を行わない。また、ユニフォームの確保が困難な場合には、ユニフォーム規程によらずビブスなどでの参加も可能とする。この場合、参加申込書にその旨を記載すること。
- 10 参加人数 1チームの編成は選手6名以上とする。（選手の上限人数はなし）
- 11 参加料 1チーム5,000円（当日受付時に徴収）
- 12 参加申込 参加を希望するチームは令和8年4月8日（水）午後5時までに別紙参加申込書に必要事項を記入の上、京丹波町教育委員会あてにメール送信する。（電話、FAX不可）
※申込書等は京丹波町ホームページ（<http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/>）からダウンロード可能
《送信先》京丹波町教育委員会 社会教育課
E-mail edu-shakai@town.kyotamba.lg.jp
※メールのタイトルは、「京丹波町ホッケーフェス参加申込」と記載。
※選手変更届は令和8年4月17日（金）午後5時までに提出すること。
- 13 組合せ 令和8年4月10日（金）に大会本部で抽選により決定する。組合せ結果については京丹波町ホームページで令和8年4月13日（月）頃に発表する。

14 特記事項

- ①本大会への参加にあたっては、チーム関係者全員（未成年の場合は選手の保護者を含む）が開催要項を理解し、チーム内での参加することの合意形成を経た上で、参加申し込みを行うこと。
- ②当日の事故、傷害に対しては、応急処置及び主催者側が加入する保険の範囲内での対応とし、それ以外の責については負わないものとする。
- ③出場チームに対し審判の選出を依頼する場合がある。
- ④ビデオタワー上での試合撮影については、試合を行っているチーム関係者（1名）のみ許可する。
- ⑤ホッケー場に併設する屋根付運動場（かがやき広場）を、休憩所として開放する。なお、会場内および会場周囲でのテント設置は不可とする。
- ⑥更衣室は、ホッケー場入り口右手のプレハブ1棟（2部屋）とする。
- ⑦本大会は感染症拡大状況等や悪天候により、大会実施中も含め急遽、中止する場合がある。
- ⑧参加多数などの参加申し込み状況により、同一団体（学校）から複数チームで申込があった場合は、エントリーの制限を行う場合がある。
- ⑨今大会では、開会式は行わず、開始式を10時頃を目途に実施する。一日の試合数が多くなることが予想されるため、開始式前にも試合を組む可能性がある。また、チーム数によっては、夕方以降、ナイター照明を点灯して試合を行う場合がある。
- ⑩チーム代表者会議については、原則行わない。（特別に連絡事項がある場合は、別途連絡を行う。）
- ⑪大会プログラムは令和8年4月22日（水）までに参加申込チームへメールにて配布する。（紙による配布は行わないので、各チームで印刷して持参すること。）
- ⑫本大会では、大会の記録用並びに広報用として映像（静止画、動画）撮影を行い、映像は、町内放送番組で広く周知するほか、静止画にあつては、ホームページ等で使用する。

運営規程

1 大会運営規程

本大会の運営はこの規程による。規程にない事項で問題が発生した場合は、大会会長、競技委員長、審判長の協議により決定する。

2 競技規則

(1) 2026年日本ホッケー協会競技規則に準ずる。

【特記事項】

- ①小学生の部においては、P C守備時の残り2名はセンターラインから向こう側に位置する。それ以外の部は、相手側バックラインから16m以内とする。
- ②S Oは、計測は6秒で、16mポイントから実施する。
- ③小学生の部にあつては、振りかぶって行うリバースヒットを禁止する。

(2) 次のとおり、一部大会ルールを適用する。

- ①フレンドリーの部、一般男子の部は大会側で用意したプラスチック製スティックを使用し競技を行う。また、ペナルティコーナーは実施せず、反則が起こった箇所に近いサークル外の所でフリーヒットを行う。
- ②男子の部に女子の選手が加わることを認める。
- ③ゴールキーパーを置かず6人全員をフィールドプレイヤーとすることができる。
- ④安全確保のためナイター照明使用時における試合については、ヒット（リバースヒットを含む。）を禁止する。
- ⑤マウスピースの着用の有無は、本大会では特に問わないので、監督の責任において管理を行うこと。
- ⑥試合開始時または、試合中において選手が4名以下になった場合、棄権扱いとし、5-0で相手チームの勝利とする。ただし、一時退場や怪我の手当てなどの場合は除く。

3 順位の決定方法

【リーグの場合】

- ①勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点は勝ちチームに3点、引き分けチームに1点、負けチームに0点をそれぞれ与える。
- ②勝ち点と同じ場合は、下記の優先順位により順位を決定する。
 - 1) 得失点差の多いチーム
 - 2) 総得点の多いチーム
 - 3) 当事者同士の対戦において勝ったチーム
 - 4) 上記事項で順位が決しない場合は、第4項による。

【トーナメント・決勝・3位決定戦】

- ①規定の試合時間を終了し両チーム同点となった場合は、ただちにS O戦を行う。

4 S O戦

- ①両チームの監督は、1名のシューター（毎回変更可）と1名の守備者を指名する。
- ②両チーム1名ずつのプレーヤーにより、勝敗が決するまでS O戦を行なう。
（先攻、後攻の入れ替えは行わない）